

あなたに何ができる？

動物の監禁を支持しないため、水族館のチケットを買わないで
ウェブサイトをシェアしてください -
www.WOWvsTaiji.com
お友達にグループへの参加を呼びかけましょう
あなたが誰かに動物の監禁と追い込み漁のことを話すと、問題意識を引き起こします。新しいメンバーが参加するたびに、私たちは世界の新たな場所に到達するのです。

地域のコミュニティーやお友達、家族に呼びかけましょう
動物の監禁をなぜ支持してはいけないか、映画 Blackfish や The Cove を観ることを周りの人たちに勧めましょう。または、自宅で映画鑑賞会を開催し、あなたの気持ちをわかってもらうために一晩時間を提供してもらえないか聞いてみましょう。正しい判断をするためには、正しい知識が必要です。

地域のリーダーに働きかけましょう動物の監禁について、どのような見解を持っているか、そしてあなたの手助けをしてくれるか聞いてみましょう

あなたのお子さんやお孫さんの学校でプレゼンテーションができないか聞いてみましょう
イルカやクジラについての質問コーナーを設けましょう。ラップトップやタブレットを持ち込んで、子供向けの教材を使った情報やビデオを見せましょう。全ては、子供たちから始まるのです。

ウェブサイトのエコツアーコーナーを見てください 監禁施設の代わりになるところが載っています。もしお友達がマリンパークへ行くつもりなら、まずそのコーナーを見てもらいましょう。エコツアーというオプションを考えてもらえるだけでも、お願いしてみましょう。

海岸のクリーンアップ運動を開催しましょうウェブサイトにフライヤーが載せてありますので、ダウンロードし、印刷してご自由にお使いください。このパンフレットに加え、ポスターや名刺、チラシ、シールなどもあります

公共の場所を借りて、一対一で人々と話をしましょう
ポスターを印刷して貼り、チラシやパンフレットを配りましょう。

イベントに参加しましょう
ウェブサイトにあるイベントのページに、日程やリンクが載っていますので、参加できるかチェックしましょう。

ボランティア - 多くのグループが協力を求めています。

嘆願書に署名しましょう

ツイートストームに参加しましょう

参加しましょう

女性の皆さん、グループの仲間になってください

facebook.com/groups/women.against.Taiji



誰でもツイッターで参加できます

@WOWvTaiji & @WOWvsCaptiveity



私たちのホームページに遊びにきてください

www.WOWvsTaiji.com



詳しくはこちらまで

Women of the World
United Against Taiji ~

Email us: info@WOWvsTaiji.com



私たちは海の哺乳動物の虐殺と監禁を永久的に終わらせるため、世界的規模で戦っています。彼らの声になる私たちに、手をかしてくれませんか？

JOIN US

太地のイルカ漁に反対する世界中の女性メンバーに出会いましょう

私たちは、日本の太地町島尻湾で毎年9月から3月まで行われているイルカの殺害、拷問、そして監禁を終わらせるために戦っています。ここ太地が、世界中のマリンパークや、イルカと一緒に泳ぐことのできる施設への世界最大のサプライヤーです。殺戮はその他の日本各所やデンマーク領フェロー諸島といった場所でも行われ、何百、ときには何千頭もの回遊中のゴンドウクジラが毎年殺されています。私たちは手遅れになる前に、私たちの海、そしてそこに住む生き物たちを守る必要があるのです。

私たちの使命

世界中の女性メンバーが揺るぎない信念をもって、全ての海洋哺乳動物が海で守られ、自由に泳ぎまわることのできる日が来るために、平和的に戦っています。すべての監禁と漁が終わるときが、私たちが戦いに勝利する日です。

グループ内容

何年もの間、監禁施設はイルカやクジラ、その他の動物を使ってその芸を観客に見せ利益を得てきましたが、多くの人々がこれらの哺乳動物やその他の動物たちがどこからやってくるのかは知らずにいました。

WOWにおける私たちの最終目的は、監禁施設を支持してはいけないこと、そしてそれは何故かということをお若男女に教える、あくまでも教育レベルを基盤にしています。

この恐ろしい取引を永遠に終わらせることができるのは、監禁された可哀想な生き物たちの芸を見るためにチケットを買う、消費者の手にかかっていると言えるでしょう。どうか、マリンパークやイルカと一緒に泳ぐ施設を支持しないでください。



輪を広げ、
知ってもらい、
世界を変えて
行きましょう

信念を捧げて

私たちのグループは、イルカ漁が行われる間、お互いをサポートし合うために2014年12月に発足しました。今日では、知識を広める目的は世界規模となりました。私たちの声は更なる多くの国々に届き、グループは日々拡大しています。

イルカとクジラには知覚力があり、自己を認識し複雑な社会性を持った、保護されるべき生き物です。

最近の研究で、何種かのクジラやイルカが、紡錘(ぼうすい)細胞、またはフォン・エコノモ神経細胞として知られる、特別な脳細胞を持つことがわかってきました。紡錘細胞は、複雑な社会的状況下において迅速な判断をする能力や、共感といった感情と関わっていると考えられています。最近まではこの特別な脳細胞は人間と、何種かの霊長類のみにしか存在しないと信じられてきました。現在、以下のクジラやイルカの脳の中に紡錘細胞が存在することが、研究でわかっています:

(www.USwhales.org)

ザトウクジラ
ナガスクジラ
マッコウクジラ
シャチ

シロイルカ
バンドウイルカ
ハナゴンドウ

監禁生活をさせることは、イルカやクジラにとって生き地獄でしかありません。我々人間が、この地球に住む他の住人をこのように扱うのは間違っています。監禁し空腹状態にすることによって、彼らは食べ物のために、人間の娯楽のために、巨大企業の利益のために、芸をしているのです。彼らは発言することができません。彼らのために声をあげるのは、私たち次第なのです。どうか私たちの運動に参加し、captive『監禁』についての知識を広めてください。

シーワールドやその他のマリンパークは、教育と保護のため、と主張していますが、自然の環境のままですべての生き物を観察できることが可能であることは、知っただけです。結局のところ、彼らが生きる場所は自然界でしかないことを、私たちは学ぶことになるでしょう。

監禁された動物を見せることは教育ではありません

早わかり イルカ&クジラ

イルカやクジラはポッドと呼ばれる家族からなる群れで暮らしています。彼らは自己を認識し、感情を持ち、ある程度の観念的なことまで理解します。また、概念的思考力を持ち、行動を選び、観察して学び、自分たちの住む環境の構造を理解し、問題を解決することにより何がうまくいき何がうまくいかないかを学び、問題を解決するため新たな策を生み出すとさえ言われています。

子イルカたちは1~2年、ときにはもっと長く母イルカの母乳を与えられます。4~6ヶ月になる頃から、魚やイカなどを食べるようになります。母乳に含まれる脂肪分が、イルカがとても早く育つのを手助けするのです。完全に離乳が終わるとオスのイルカは群れを離れ、新しい群れを作るか、または別の群れに加わります。メスのイルカは母イルカと同じ群れに一生とどまることもあります。もし群れから離れたとしても、近距離に留まります

シロイルカ(ペルーガ)のメスは300mの深さまで潜り、オスは600mの深さまで潜ることができます。イルカやクジラは毎日数百キロも泳ぎます。監禁されたイルカたちはこの環境を奪われます。彼らにとって水族館のプールは狭く、浅すぎるのです。

捕獲されたイルカやシャチは、様々な大きさの群れや異なる地域から連れてこられます。囚われの身のイルカたちはしばしば、コミュニケーションを取ることが難しい他の生き物や、野生の中では決して出会うことのない生き物たちといった、気が合わない同士と生活することを強制されます。

監禁されたクジラやイルカたちは人工的に受精させられ、その多くが繁殖するにはまだ若すぎます。囚われの環境で繁殖させられたイルカは、子イルカの育て方を何年もかけて教えてくれる女家長的存在であるメスのイルカが存在する群れを知りません。母親から拒絶されてしまった子イルカたちは、多くの場合監禁下では生き延びることはできません。たとえできたとしても、その子イルカたちは母イルカから引き離されて世界中のマリンパークへと搬送されていきます。監禁下における繁殖はうまくいかないことが証明されています。すべての面において、監禁は自然なことではないのです。